

[chiba\_18]

活動タイトル	北海道サイエンス・フェスティバルで発電床体験と応用例パネルで説明
実施日	2018年8月6～7日
場所	北海きたえーる メインアリーナ（札幌市）
対象数	200人

内容

北海道 150 年を記念して開催された「北海道サイエンス・フェスティバル」に推進員活動の一環として取り組んでいる北海道省エネまちづくり協会のブースとして出展しました。

“発電床”の体験展示は「環境広場さっぽろ 2018」でも使いましたが、応用例が今まで口頭でしか伝えて来なかったのが、現実感が乏しいのは否めませんでした。

今回は具体的な応用例のパネルを印刷して、説明しました。子どもたちは、何度も踏んで発電できることが楽しいだけなのですが、付添の保護者の方、パネルを見せることで納得感をもって「すごい技術」と確信されていました。

体験は楽しくやってもらうことも大切ですが、見て、すぐ想像できる、「具体的な将来像を見える化することが大切」と思いました。

実施写真等



事例1 防犯センサー（「シンプル!!!ベランダ防犯」）

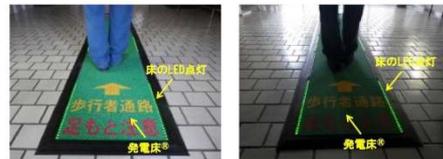


「発電床®」をベランダや廊に敷き、警報機と接続することで防犯センサーになります。侵入者が足を踏み入れた瞬間に警報を発します。

※ 大きさ・色・デザイン等は、自由にカスタマイズ可能！

依頼主：大和ハウス工業株式会社  
導入システム：「発電床®」、無線センサー  
導入時期：2015年

事例3 屋外用歩行者誘導マット 写真：道路工用マット型



「発電床®」を誘導マットに活用することで、電源がなくてもLEDを点灯させることが出来ます。暗闇でも安全に工事中の迂回路を通行していただくことができます。

※ 完全防水仕様を実現したため、屋外での利用も可能！

販売元：日本道路株式会社  
導入システム：「発電床®」、LED誘導灯  
製品化時期：2015年